



第 38 期
中間報告書
平成27年4月1日～平成27年9月30日

INTERIM REPORT

夢を持って、美を求め、形にする。

私たち日本精密は「夢・美・形」の追求によって、はじめて輝く明日がやって来ると信じています。「実現できると信じる心」が、企業の継続と社員の幸せ、そして社会への貢献を実現する原動力となります。

DREAM.
BEAUTY.
FORM.



ごあいさつ

日本の“ものづくり技術”を世界へ。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、「日本の“ものづくり技術”を世界へ。」をモットーに、1978年の創業以来、腕時計バンドの製造をメインにメガネフレーム等、精密部品加工業として業務を拡大してまいりました。

1991年以降、荒波のように変化する世界の経済状況に応じて常に業務革新を行い、主力製品である時計バンドの低価格化、マस्पロダクト製品などの海外生産化を実現し、世界市場で勝てるコスト競争力で対応しております。

当社の『人材力』は、6つのチカラ「提案力・開発力・コスト力・技術力・品質力・管理力」をベースに国内一流企業や海外メーカーの高いニーズに応えております。

私たちメーカーの責任としてデザイン、ファッション、トレンドを常にキャッチアップし、絶えず斬新な発想で「高付加価値製品」を開発・提案・提供することで社会に貢献していける企業であるように社員一丸で臨みます。

さて、当社の第38期中間報告書（第2四半期連結累計期間、平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）をお届けするにあたり、ご挨拶をかね、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。



代表取締役社長

岡林 博

平成27年12月

連結業績の概要

Financial highlight

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、円安基調の継続、欧州経済の停滞、中国や新興国経済の減速懸念など、国内景気は緩やかな回復傾向にあるものの、先行き不透明な状況が続いております。一方で、円安等を背景とした近年の訪日外国人客の大幅な増加と、それに伴う「爆買い」等の言葉に代表されるインバウンド需要の増加は、国内経済にとってプラス要因としてはたらいいております。

このような状況下、当社グループは、平成30年3月期の利益計画「ASEANプロジェクト」の3年目を迎え、「生産能力の増強」「サプライチェーンの構築」「更なる付加価値製品の提供」をテーマに、計画の達成に向けて引き続き取り組んでおります。製造子会社であるNISSEY VIETNAM CO.,LTD.においては、設備投資による生産能力の増強及び半自動化・オートメーション化の推進に加え、表面処理能力の向上にも取り組んでおります。当社の顧客である国内大手時計メーカーは、インバウンド需要の増加により各社とも高級品を中心に好調な販売が続いております。高級品向け製品においては、高付加価値化のための表面処理が重要な技術となるため、当社といたしましても、顧客ニーズに応え、また今後の需要増にも備えるべく取り組みを行いました。最新の表面処理技術であるDLC（ダイヤモンド

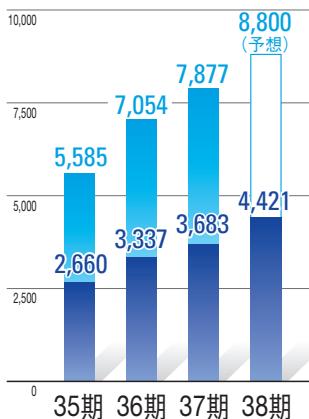
ドライクカーボン）装置は設置が完了し10月から稼働を開始する予定です。それらに加え、9月には表面処理専用の新工場建設にも着工いたしました。また、これらの取り組みと並行して、時計関連において新規顧客との取引開始など受注促進にも注力してまいりました。その結果、当第2四半期の連結売上高は4,421,117千円（前年同四半期は3,683,756千円）と大きく前年同期を上回る結果となりました。

損益につきましては、売上総利益はNISSEY VIETNAM CO.,LTD.において、円安ドン高による人件費の増加の影響が引き続き残るものの、売上高の大幅な増加と、NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.との相乗効果による生産性の効率化などにより1,088,387千円（前年同四半期は900,358千円）となりました。営業利益は、売上総利益の増加などにより152,858千円（前年同四半期は営業利益60,197千円）と大きく前年同期を上回る結果となりました。経常利益は為替相場の変動による為替差損の計上などがあつたものの営業利益の大幅増により101,696千円（前年同四半期は経常利益96,166千円）と前年同期を上回る結果となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税負担の増加などにより62,977千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益78,988千円）となりました。

連結業績ハイライト

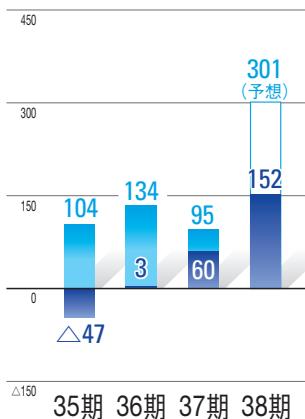
売上高 (単位:百万円)

■通期 ■第2四半期(累計)



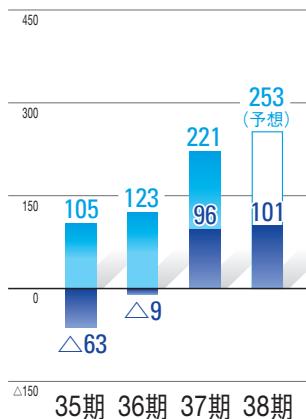
営業利益 (単位:百万円)

■通期 ■第2四半期(累計)



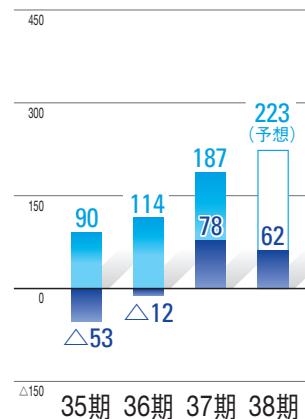
経常利益 (単位:百万円)

■通期 ■第2四半期(累計)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位:百万円)

■通期 ■第2四半期(累計)



セグメント別の概況

Review of operations

時計関連



営業の概況

時計関連の売上高は3,370,457千円となり、前年同四半期比817,990千円増加しました。このうち、時計バンドは、高付加価値製品の受注増加などにより、NISSEY VIETNAM CO.,LTD.の生産が大幅な増加となりました。時計部品は、NISSEY VIETNAM CO.,LTD.と前期に稼働を開始したカンボジア工場(NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.)への労働集約型製品の生産移管とそれによりNISSEY VIETNAM CO.,LTD.の生産品目を高付加価値製品へシフトできたことなどにより、生産が大幅な増加となりました。また、大型案件の売上高計上も増加に寄与しました。これらの結果、円安効果も加わり売上高の大幅な増加に繋がりました。これにより、セグメント利益は261,314千円(前年同四半期はセグメント利益124,933千円)となりました。



売上高
33億70百万円
(前年同四半期：25億52百万円)
セグメント利益
2億61百万円
(前年同四半期：セグメント利益1億24百万円)

メガネフレーム



営業の概況

メガネフレームの売上高は869,513千円となり、前年同四半期比70,830千円減少しました。このうち、(株)村井は、依然として厳しい市場環境が続いており、海外売上は増加したものの、大型チェーン店への売上はほぼ前年並み、中小型チェーン店への売上は大幅に減少したため55,941千円の減少となりました。また、当社のメガネフレーム部門は、大型チェーン店への売上は増加したものの、大手メーカーへの売上が減少したため、14,888千円の減少となりました。これにより、セグメント損失は131,549千円(前年同四半期はセグメント損失83,051千円)となりました。



売上高
8億69百万円
(前年同四半期：9億40百万円)
セグメント損失
1億31百万円
(前年同四半期：セグメント損失83百万円)

その他



営業の概況

その他の売上高は181,147千円となり、前年同四半期比9,798千円減少しました。釣具用部品及び静電気除去器は増加しましたが、前年同四半期にスポット受注した健康器具の売上分が減少しました。これにより、セグメント利益は15,873千円(前年同四半期はセグメント利益15,829千円)となりました。



売上高
1億81百万円
(前年同四半期：1億90百万円)
セグメント利益
15百万円
(前年同四半期：セグメント利益15百万円)

ベトナム第4工場の着工

当社の表面処理技術につきましては、従来から顧客に高い評価をいただいておりますが、顧客のさらなるニーズに応えるため、最新・高付加価値の表面処理技術DLC（ダイヤモンドライクカーボン）の設備稼働も開始いたしました。しかしながら、今後も高級品向け製品の需要がさらに高まることに対して、高付加価値の鍵となる表面処理の設備能力が、現在の当社ベトナム第2工場の設備では不足する見込みであり、その対応には新たに表面処理設備を導入することが必要となります。現在のベトナム第2工場は、これ以上の設備配置場所がないうえに老朽化が進んでいます。そのため、当社ではベトナム工場の敷地内に新たにベトナム第4工場を建設することとし、この度建設を開始いたしました。

ベトナム第4工場は表面処理工程の専用工場として使用する予定であり、竣工した暁には現在のベトナム第2工場の設備も移管し、今後検討する追加設備の導入も含めて表面処理工程の集約化と処理能力の向上を見込んでおります。

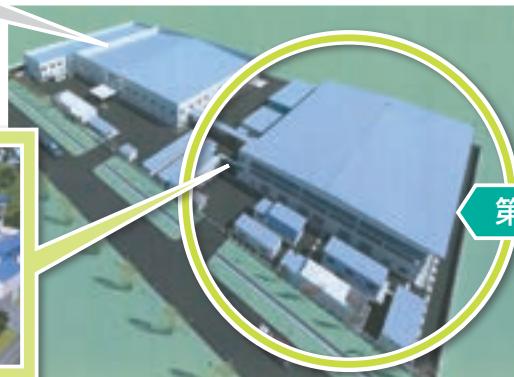
当社といたしましては、この度着工したベトナム第4工場の建設により表面処理能力を増強し、また、併せて生産効率の向上を図ることにより、ベトナム工場における高付加価値製品の増産と、それによる当社グループの収益拡大を図ってまいりたいと考えております。



ベトナム第1工場



ベトナム第4工場完成予定図



第4工場

全体完成予定図



ベトナム第2工場

四半期連結財務諸表

Financial data

▶ 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期末 平成27年9月30日現在	前期末 平成27年3月31日現在
資産の部		
流動資産	3,966,894	3,241,480
固定資産	2,409,137	2,194,801
有形固定資産	1,746,435	1,546,247
無形固定資産	498,463	489,550
投資その他の資産	164,238	159,002
繰延資産	50,203	56,996
資産合計	6,426,234	5,493,278
負債の部		
流動負債	2,501,427	1,976,677
固定負債	1,397,838	1,265,471
負債合計	3,899,266	3,242,148
純資産の部		
株主資本	2,497,939	2,224,783
資本金	1,820,976	1,715,821
資本剰余金	1,804,081	1,698,926
利益剰余金	△1,086,439	△1,149,416
自己株式	△40,679	△40,548
その他の包括利益累計額	26,187	26,345
その他有価証券評価差額金	23,206	23,604
為替換算調整勘定	2,981	2,741
新株予約権	2,841	—
純資産合計	2,526,968	2,251,129
負債純資産合計	6,426,234	5,493,278

▶ 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	当第2四半期 累計 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	前第2四半期 累計 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
売上高	4,421,117	3,683,756
売上原価	3,332,730	2,783,398
売上総利益	1,088,387	900,358
販売費及び一般管理費	935,528	840,161
営業利益	152,858	60,197
営業外収益	8,771	63,004
営業外費用	59,932	27,035
経常利益	101,696	96,166
特別利益	—	756
特別損失	474	41
税金等調整前四半期純利益	101,222	96,881
法人税等	38,244	17,892
四半期純利益	62,977	78,988
親会社株主に帰属する四半期純利益	62,977	78,988

▶ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期 累計 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	前第2四半期 累計 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	119,991	45,404
投資活動によるキャッシュ・フロー	△358,759	△195,588
財務活動によるキャッシュ・フロー	713,754	122,409
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,575	16,478
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	465,410	△11,296
現金及び現金同等物の期首残高	399,371	479,092
現金及び現金同等物の四半期末残高	864,782	467,796

▶ 会社概要

商号	日本精密株式会社
設立	昭和53年8月
本社	〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8川口センタービル8階 TEL: 048-225-5311 FAX: 048-226-5356
資本金	1,820,976千円
従業員	74名 (連結3,535名)
事業内容	時計バンド及び時計外装部品の製造、販売 メガネフレームの製造、販売 イオンブレーティング (表面処理加工) 釣具用部品、静電気除去器、その他製品の製造、販売
主要な関係会社	NISSEY VIETNAM CO.,LTD. NISSEY CAMBODIA CO.,LTD. 株式会社村井

▶ 役員

代表取締役社長	岡 林 博
取締役	井 藤 秀 雄
常務執行役員	白 坂 敬 次
取締役	権 經 訓
取締役	黄 仁 昶
取締役	権 敬
取締役	柳 奉 錫
社外取締役	金 民 秀
常勤監査役	中 嶋 春 樹
社外監査役	佐 藤 和 彦
社外監査役	河 津 博 史
上席執行役員	朴 成 鎮
上席執行役員	新 井 富 之
上席執行役員	上 林 一 男
執行役員	山 田 幸 三
執行役員	守 屋 泰 明
執行役員	黒 澤 明 夫
執行役員	阪 井 明 夫
執行役員	柴 崎 照 夫

▶ 株式の状況

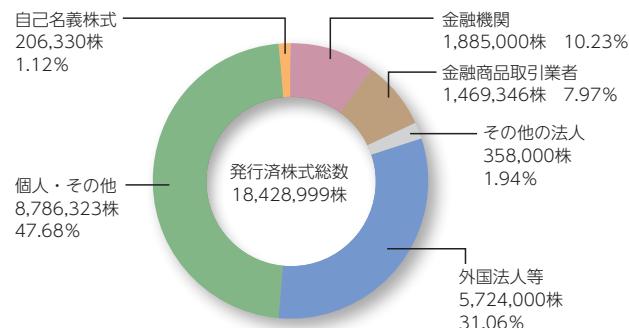
発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式総数	18,222,669株 (自己株式206,330株を除く)
株 主 数	1,758名

▶ 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株 式 会 社 ジ エ ン コ	4,119	22.60
キュキャピタルパートナーズ株式会社	1,119	6.14
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	1,013	5.56
佐 藤 真 吾	730	4.01
日 本 証 券 金 融 株 式 会 社	685	3.76
株 式 会 社 S B I 証 券	514	2.82
井 藤 秀 雄	300	1.65
CREDIT AGRICOLE (SUISSE) S.A. S I N G A P O R E B R A N C H	249	1.37
日 本 精 密 社 員 持 株 会	243	1.33
楽 天 証 券 株 式 会 社	197	1.08

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

▶ 所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード)
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載 URL http://www.nihon-s.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

ご案内

●株式に関する住所変更等のお問合せおよびお届け出について

株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

●特別口座について

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。

●未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報など当社をご理解いただくための様々な情報を提供いたしております。



日本精密

検索

<http://www.nihon-s.co.jp/>